



還暦を過ぎ、そして、弁護士登録後30年が過ぎようとしている。これまで種々の事件を処理し、会務にも従事してきたが、果たして世のため人のためになったのであろうか。自問するこのごろである。そして、最近では長期的な観点から見た国家・社会のあり方、そのあり方を踏まえて、弁護士・弁護士会は、今後、どのような役割を果たすことができるのかを考えている。

資本主義は、「無限の」資本蓄積が優先される史的システム、換言すれば、市場経済を基盤とする「際限のない」経済成長を志向するシステムである。安倍総理が経済政策の柱の1つとして「成長戦略」を掲げているのも、資本主義のこの特質を踏まえてのことである。この経済成長を持続するため、米国は「医療・生命を中心とする科学研究」に圧倒的な力を注ぎ、日本もこの政策に追従する姿勢を見せている。しかし、黒田日銀総裁の採用した未曾有の金融政策にもかかわらず、景気は思うように好転せず、経済成長はここ2年間、微増にとどまっている。他方、米国の所得格差は先進国では突出して大きく、日本も1980年以降、所得格差が拡大し、現在ではOECD諸国中、英国、ギリシャとならび、5番目に

格差が大きい国となっている。工業化の資源的限界がある以上、電腦を含む科学技術の革新に大きく依存せざるを得ない状況であるが、技術革新がどこまで持続可能かとい




土井 隆 (39期)

●Takashi Doi

う疑念も生じている。仮に、経済のゼロ成長が続く社会(定常型社会)となり、資本主義が維持できなくなったときには、どのような国家社会を構想できるのであろうか。有識者の中には、「コミュニティー」経済・社会に注目する者がいるようである。

転じて、我が弁護士界はどうであろうか。1994年以降、日弁連は法曹人口の増大を容認し、2000年以降は、法科大学院および法テラスの創設を是認するという方向に転じた。この方針は「社会生活上の医師」を目指して「法の支

配」を日本の隅々まで行き渡らせるという理念の下に打ち出された方針と認識しているが、現象面では「市場原理」を弁護士界に一定程度導入したものである。この状況で業務の質をどう確保するのか、日弁連や弁護士会の研修で足りるのか、「自然淘汰」に委ねるのか。このことと関連して、法科大学院、司法試験予備試験をどう位置づけるのか。さらに、国民が利用しやすい司法制度をどのように構築していくのか。これらの諸点を含め、弁護士界は、今後の国家・社会の変容に対応するために、どのような方向に舵を切っていくのか、様々な想念が次々に沸いてくる。

中江兆民の代表作『三酔人経綸問答』の中で、豪傑君は膨張主義的国権主義を主唱し、洋学紳士は西洋の民主主義を縷述しているが、南海先生は自説を明確にせず酒ばかり飲んでいて、私も想念に耽るも良案が浮かばず、酒杯を傾けている。自らの皮相浅薄を嘆くも、時機に遅れると感悔したところで、紙面が尽きたようである。 

Hanamizuki

花水木

24



本執筆に至ったきっかけは、弁護士業務センター（委員会）でお世話になっている先生からお話をいただいたことでした。同委員会活動に参加した理由は、弁護士登録以来、父（33期）と2人だけの事務所で仕事をしているので、ほかの先生方がどんな仕事・考え方をされているのかに興味があり、様々な先生方とお話をしてみたいと考えていたことと、業務拡大活動に興味があったからでした。今年から同委員会の嘱託の任に命じていただきましたので、同委員会の掲げる「弁護士の業務拡大」に取り組みながら、普段お会いできない先生方とお酒を交わし、仕事の考え方などを勉強させていただいております。

ここで少し委員会活動を報告しますと、10月10日に東京三会就職合同説明会が行われました。司法試験合格者が年々減少しているとはいえ、今年度の説明会では修習生（予定者）587名、法律事務所70事務所、企業30社の参加があり、依然として就職のマッチングをサポートしていく必要があると実感しました。また、同日午前中に同会場で開催された企業内弁護士セミナーにも108名の参加者があり、企業内弁護士を進路の1つとして考える修習生も多くな

るのだと実感しました。来年は当会が当番会ということもあり、今年現場で立ち会った実感を活かし、より良い説明会にしたいと思っています。

また、昨年11月には恒例の



高 将太郎 (67期)

●Shohtaroh Koh

士業交流会が開催されました。同交流会の趣旨は、会計士、税理士、社労士等の他士業の先生方との交流を深め、今後の仕事に繋げていくというものです。一度きりの交流会では名刺交換をする程度で終わってしまいますので、継続的なイベント（飲み会やBBQ等）を企画し、その後の勉強会や仕事に繋げていけるよう工夫していきたいと思っています。参加された他士業の先生方に感想を聞いたところ、今後も弁護士との交流会を継続してほしいとの声がありますので、是非、皆様も興味があ

ればご参加ください。

残り紙面で少し趣味の話を書いてみます。弁護士登録をして間もないころ、依頼者の方から「話のネタにもなるからゴルフを始めなさい」とアドバイスを受けて、それ以来コツコツと練習をしています。今では、すっかりゴルフが好きになり、お世話になっている先生方や依頼者の方とラウンドに行くようになりました（スコアは決して良くありません）。父もゴルフが好きなので、父ともラウンドに行きますが、当分スコアで勝てそうにありません。学生時代はバスケットボール一筋で、ゴルフの練習に出かける父を見て、一体ゴルフのどこが面白いのかと思っていましたが、あの時から私もゴルフを習っていたらどれだけ良かったことかと若干後悔しています。当然、この冬もゴルフの特訓をするつもりです。来春は委員会活動や士業交流会を通じ知り合った方ともゴルフをご一緒させていただき、是非多くのことを勉強させていただきたいと思っています。

最後になりますが、肝心な通常の弁護士業務の方では、勉強しなければならないことが山積みですが、依頼者の方のため、1つ1つ仕事をこなしていきたいと思っています。 ■